

インバウンド社会対応型リハビリテーション人材の育成

キーワード

リハビリテーション, 国際教育, 非認知能力, 高等教育

研究内容

現代の医療現場では、国籍や文化の異なる人々と協働する機会が増えています。そのため、専門知識だけでなく、相手を理解し協力しながら課題を解決する力や、リーダーシップ、対人関係能力といった人間的な力が求められています。本研究では、こうした国際的な人材を育成する教育プログラムの開発を目的としています。リハビリテーション学科の学生を対象に、Web 適性検査「GPS-Academic」を活用して非認知的特性と留学意向の関係を分析とともに、海外スタディツアーの教育的効果を検証しています。これらの成果を通して、学生の国際的な成長を支援し、より質の高い国際教育の実現を目指しています。



教育内容の概要図

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・松江洋祐、田中繁治、米津亮、留学意向と汎用的能力特性の関連：女子大学リハビリテーション学科における横断研究、2025年全国リハビリテーション学校協会 第38回教育研究大会・教員研修 2025.10.18
- ・米津亮、松江洋祐、田中繁治、科目間ブリッジングを意識した1年次アクティブラーニング教育の学修効果 2025年全国リハビリテーション学校協会 第38回教育研究大会・教員研修 2025.10.18 優秀発表賞（学生支援部門優秀賞）



海外スタディツアーの様子

社会連携・産学連携の可能性

医療系学生の国際的成長を支援しています。海外研修の効果を可視化し、国際教育や医療人材育成に关心をもつ機関との共同研究も可能です。